

あゆ

2006年冬季号(通巻64号)

発行:財団法人 豊川市国際交流協会

編集:ニュースレター部会

〒442-0878 豊川市新道町1丁目1-3 勤労福祉会館内

☎0533-83-1571 FAX0533-83-1581

(年4回 5・8・11・2月発行)

ホームページアドレス <http://www.yui.or.jp/tia/>

メールアドレス tia@yui.or.jp

”思い出の一枚“
ワールドショット



● 謎の空中都市 マチュピチュ

松久町 北村 京子

2004年10月、愛知万博での豊川市のフレンドシップ国ペルーを訪問しました。

ペルーの面積は日本の3.4倍ほどですが、首都リマ、地上絵のナスカなどの海岸砂漠地域と、アマゾンの熱帯雨林地域、マチュピチュや古都クスコのある山岳地域と大きく3つのエリアに分けることができ、高低差の激しい国土でした。

11世紀に栄えたインカ文明の石組みと16世紀に征服したスペインのコロニアルな建築物が融合した町並みは、独特な雰囲気漂っていました。



ペルーにはユネスコの世界遺産が10カ所もあり、その中で最初に登録されたのがマチュピチュです。

この写真は、ウルバンバ溪谷の山あい、標高2,280mの頂上にあるマチュピチュです。石造りの神殿、宮殿、住居や農作物栽培用の段々畑が並んでいました。マチュピチュは、山すそから見るできないことから、空中都市とも呼ばれています。

マチュピチュは、スペイン人から逃れるために、インカの人々が作った秘密都市だったと言われています。16世紀半ばに、自らの手でこの都市を焼き払い、さらに奥地へと消えてしまったのです。マチュピチュには、いまだに解明されていない謎が多くあります。

ペルーは漢字で「秘国」と書きます。マチュピチュやナスカの地上絵など神秘的な歴史を持つこの国は、多くの謎を秘めています。次回旅するときは、高山病に注意しながら、マチュピチュを中心に、ゆっくり時間をかけて回りたいと思っています。



マレーシアとの

大学生など17人来豊

12月1日、マレーシアの大学生等17人（生徒13人、付き添い4人）が来豊し、5日朝まで滞在しました。今回パマジャの企画にマラ工科大学が応じて実現しました。

協会とマレーシアとの関係は、平成7年最初の青年を受け入れてから10年になります。しかし、ここ4年ほどはJICAの事情もあり、マレーシアの青年の受け入れが途絶えていました。ところが今年8月中学生を派遣するプログラムを協会が実施して、今回の受け入れにつながりました。協会としては来年も中学生を派遣しようと企画しており、パマジャもぜひ来年も大学生を受け入れて欲しいと要望があります。中学生や大学生など将来を担う人たちの交流は、必ずや大きな成果を生むものと期待されます。



1日、セントレアへの到着が遅れ、せっかくの歓迎幕は用をなしませんでした。でも、記念にパチリ。

滞在の様子を、日を追って紹介します。

12月1日（木）

一行は朝セントレアに到着したのですが、協会からの迎えの車が東名の集中工事の影響

で約1時間遅れ、心細い気持ちにさせてしまいました。11時半、協会へ到着。昼食の後、市内観光。国分尼寺を訪れた後、図書館とプラネタリウムを見学。16時半豊川ビジネスホテルへ到着。18時半からささやかな歓迎会。プレゼントの交換などをしました。ホテル泊。

12月2日（金） 8時50分、協会からワゴン車など3台で豊橋技術科学大学へ出発。10時から15時半まで技科大見学。マレーシアからの留学生との交流、研究室、図書館などを見学しました。帰ってから100円ショップを見学。18時ホストファミリーにお渡し。

12月3日（土） 9時、協会を出発して、一路名古屋へ。最初に名古屋城を見物後、栄で4班に分かれてそれぞれ



周辺の散策。セントラルタワーへも地下鉄で行きました。地下街はワンドフルだが、少々高いとか。16時半に集合して帰途につきました。18時半に豊川へ到着しホストファミリーにお渡し。

4日、鳳来寺山には一部紅葉の名残も。みぞれの天気はやがて雪に変わり、南国の学生には貴重な体験になりました。

12月4日（日） ホストファミリーの企画でそれぞれ行動。ただし、ホテル滞在者がいたので、その人たちは協会に対応し、「ゆうゆうありいな」で五平餅を食べ、鳳来寺へ。残っていた紅葉を見ていたら、みぞれが雪になり、思いがけない体験に大喜び。

12月5日（月） 9時、バスで東京へ向かって出発。

パマジャとは... 青年招へい事業で来日したマレーシアの青年の同窓会組織の名前。アセアン各国には同じような組織があるが、中でもマレーシアのパマジャの活動が一番活発。

あなたの 身近に
「ベストな ひまわり」

ひと・夢・いいね。

 **JAひまわり**

〒442-8517 豊川市諏訪1丁目1番地
☎(0533)85-3171

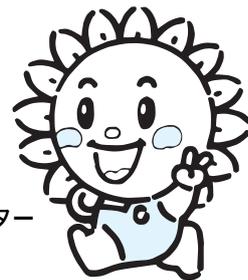


夢の旅へ
出かけよう!!

旅行のお問い合わせ・お申し込みは

JAひまわり 旅行センター

プリア4F ☎(0533)89-3055
営業時間/AM10:00~PM7:30



交流さらに進展

大学生にアンケートを実施！

カルチャーギャップのNo.1は **時間の正確さ**

ニュースレター部会では、今回の大学生は大多数の人が日本訪問を初めてと察し、アンケートを実施しました。いろいろ興味のある回答が出ましたので、その抜粋を報告します。なお、アンケートの詳細はホームページへ掲載します。

設問1 「来日は初めてか」

- ・はい、がやっぱり全員でした。

設問2 「このプログラムへ参加した理由は？」

- ・マハティール前首相が提唱したルックイーストに従って日本を見たかった。
- ・旅行が好きで、そこから新しい何かを学びたい。
- ・外国に友達を作りたい、など。

設問3 「日本は事前に描いていたイメージと違っていたか」

- ・はい、が何と9人。いいえ、が1人、あまり違いを感じなかったが1人。

設問4 ホームステイについて「日本の家についての感想」

- ・たいへんユニーク。
- ・シンプルで素敵、快適。
- ・現代と伝統が混じっている。スライドドアやその他の技術も。



2日、豊橋技科大を訪問しました。

設問5 「風呂には入ったか」

- ・いいえ、が10人。と言うことは？
- ・マレーシアでは使わないことと使い方を知らない。

- ・恥ずかしいから。
- ・はい、も5人いました。
- ・リラックスでき、リフレッシュを感じた。
- ・快適で最高。

設問6 「店での買い物とサービスについて」

- ・値段が高い、と大多数の人が答えています。
- ・サービスが良い。
- ・先進性を感じる。
- ・親切。礼儀正しい。フレンドリー。

設問7 「豊橋技術科学大学を訪問の感想。留学生と意見交換の内容は」

大学の感想は、

- ・技術が高いのと学生が規律正しい。
- ・町から離れた立地だが、勉学には最高の場所だ。

意見交換の内容は、

- ・キャンパスライフと食べ物、(物価が高い中)お金の使い方、など。

設問8 「あなたのカルチャーギャップは？」

- ・規律正しい生活。正確な時間。几帳面さ。
- ・外国語(マレー語、英語)があまり通じないこと。
- ・公衆浴場。
- ・風呂へ浸ること以外、違いはほとんど感じなかった。

設問9 「次に東京を訪問するが、何を期待するか」

- ・忙しいような大都会の生活の体験。
- ・たくさんの文化と技術を見たい。
- ・公共交通機関がいかにか効果的かを検証したい。
- ・迷わないようにしたいな。
- ・願わくば、豊川で経験した以上のもの。きっと、ホームステイ以上のものはないと思うが....



3日、名古屋城を見物しました。

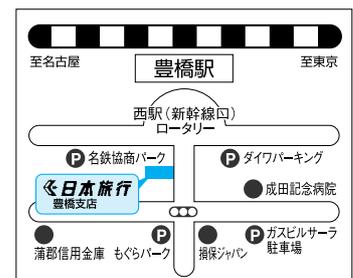
協会としては、豊川での滞在が楽しかったと言われることが、日本訪問の好印象につながればそれに勝ることはないでしょう。

日本旅行 豊橋支店

国土交通大臣登録旅行業 第2号/JATA(社)日本旅行業協会正会員
ボンド保証会員/旅行業公正取引協議会会員

〒441-8013 豊橋市花田町一番地180
TEL 0532-33-7910
FAX 0532-33-7929

受付時間/平日 10:00~18:00
定休日/土曜・日曜・祝日



◎駐車場案内/まちなかパーキング(共通駐車場券)
ご旅行お申込み・お買上げのお客様に限らせていただきます。
市JR券、航空券、バス等の交通券のみのお買上げは除かせて頂きます。

中学生体験ツアー inマレーシア2005 No.2

63号で紹介した協会設立15周年記念行事中学生体験ツアー inマレーシア。今回はこのツアーに参加した中学生2人に感想文を寄せてもらいました。初めてのマレーシアで何をできてきたのでしょうか。

マレーシアでの体験

平松 祐子

私が中学生体験ツアーに参加した理由は、日本とは違う文化を知り視野を広げたいと思ったからです。9日間もマレーシアで生活するのは慣れないため疲れました。しかしそれ以上にいい体験をすることができました。

特に印象に残ったことはホームステイです。私はこのツアーでこれが特に不安でした。それは、私は英語が苦手だからです。しかし、ホストファミリーはジェスチャーを使って話しかけてくれたので安心しました。この行動がホストファミリーの優しさを感じてうれしかったです。



新しい友達と一緒に

ホームステイの最終日には結婚式に連れて行ってもらいました。結婚式には近所の人がたくさんお祝いに来ていました。人と人とが親しい関係なんだと感じました。多くの人々に祝ってもらって花嫁さんたちもとても幸せそうでした。マレーシアでの結婚式に参加して、マレーシアと身近になれたという感じがしました。

今回のツアーで、話そうという気持ちさえあれば伝わるといえることを感じました。食事のことやトイレトペーパーがないこと、宗教のこと、生活リズムの違いなど日本では起きない問題には驚きました。しかし、こんな文化を体験することによって本当にマレーシアを知ることができたと思います。

マレーシアの人々はとても積極的でした。私たちも日本から派遣されたという思いを持ち、積極的に行動することが必要だと思いました。とてもいい体験をさせていただき本当によかったです。ぜひこれからも参加したいと思いました。

言葉は通じなくても

早川 貴教

「夏休みにマレーシア旅行に誘われたけど、行ってみる？」という母の言葉に、「野球部の夏の大会が終われば少し暇になるから行ってもいいよ」と言ったのが始まりで、今回のツアーに同じクラスの悠斗君と参加することになった。情けない話だが、マレーシアに関して「言葉は何語？」「年中暑いの？」「地図で示せ」と言われれば「多分この辺？」くらいの知識しかなかった僕には、参加が決まるとやるのがたくさんあった。事前研修は受けたが、マレー語はもちろん英語も苦手な自分にホームステイができるのか不安もあった。でも何とかなるだろうと異国の地への期待のほうが大きかった。

実際にマレーシアへ着いてみると、町をあげての大歓迎に皆びっくりし、人なつこいマレー人の温かさにそれまでの不安も吹き飛ばすようになった。ホストファミリーはたくさんの気遣いをしてくれ、言葉は通じなくても身振り手振りでもちゃんと意思が通じたことは大変うれしかった。



右端が早川さん

このツアーに参加して、日本には物がたくさんあること、何かほしいときは何時間も車で走って1軒しかない店に行かなくても、近くにコンビニがありすぐに物が手に入るなど、今までそれが当たり前のことだと思っていたことが、マレーシアに行って自分たちがどれほど恵まれているのかわかった。世界にはもっといろいろな人がいるので、もっと英語を勉強して、これからは機会があれば海外へ行ってみたいと思った。来年参加される人たちへ。言葉は通じなくても相手を理解しようという気持ちがあればきっとコミュニケーションは取れるという自信を持って参加してほしい。

行政書士小柳津えみ事務所

DESPACHANTE CREDENCIADA

入管手続・帰化申請・内容証明
遺言書・相続手続・各種許認可申請

豊川市御油町栗木山152番地
TEL 0533-80-1801
FAX 0533-80-1802
E-mail emi@fb3.so-net.ne.jp

世界の旅 パッケージツアー
航空券・海外ウエディング
国内の旅 旅館・ホテル・観光バス
個人から団体まで
JTB かわしんグループ
ジェイティービー代理店



豊伸トラベルサービス(株)

営業時間 土・日も営業 豊川市諏訪3丁目302(プリオII1階)
AM10:00~PM8:00 0120-857716
☎(0533)89-7716 FAX89-8233

ワールドフェスティバル



去る12月11日(日)午後1時から、勤労福祉会館大研修ホールにてワールドフェスティバル2005を開催しました。

企画

フレンドシップ、ラングウェッジ、日本語、ニイハオ、ポルトガル語、マレイシア、アンニョン、イタリア語、ラテンアメリカの3部会6サークルが共同で企画し、運営しました。

記録を更新

第7回目となったワールドフェスティバル。平成12年の第2回以来、参加者数が増え続けています。今回は日本人177名、外国人62名、出演者71名、合計310名の参加がありました。

新しい顔、おなじみの顔

今回新しく参加してくれたのがカナダ&アメリカポップスと、代田中学校に在籍するブラジル人・ペルー人生徒のヒップホップです。英語のポピュラーソングはこれまで南米、アジア系が中心だったワールドフェスティバルに新鮮さをもたらしてくれました。また、ブレイクダンスも大好評で、地元の外国籍中学生との交流のきっかけになることが期待されます。

第4回のフェスティバル以来で復活したのがフラメンコ。やはり華やかな衣装を身にまとった女性の踊りはすばらしく、会場の目がくぎ付けになりました。そして前回に引き続き、ブラジルのサンバ、ペルーの踊りと音楽、中国の歌も会を盛り上げてくれました。

これからのワールドフェスティバル

毎年好評をいただいておりますが、すでに7回目を越え、一つの転換期を迎えつつあります。来年度に向けてのご意見・ご要望等がありましたら、協会事務局までどしどしお寄せください。

NECワープロ・パソコン専門店
文具・事務用品・紙製品
スチール家具・OA機器



有限会社 **するが屋**

豊川市光明町2-7

☎(0533)86-2509 FAX(0533)86-2299

村松書店

〒442-0041 豊川市旭町6番地

TEL (0533) 86-3810

FAX (0533) 86-2682

E-mail add.

mbooks@amitaj.or.jp

シベリア鉄道とロシア ロシア民族アン

シベリア鉄道とロシア極東2大都市を訪問して

古宿町 森下益代

近くて遠い国ロシアの極東ハバロフスクに中部国際空港からチャーター便で、わずか2時間30分で到着した。

人口70万人とも80万人とも言われるハバロフスクは、私たちが訪れた8月半ばはもう秋の始まりだった。土地は広大で、建物は古く、れんが造りが多い。開拓者ムラビヨフの史跡めぐり、アムール川クルーズは雄大だった。

夢にまで見たシベリア鉄道寝台特急に乗った。2段ベッドが2組で1室になっていて、老若男女に関係なく割り当てられるには驚いた。私たち女性2人は、外国の若い男性2人組と同室となり、着替えもできず困った。同様に、ロシアの女性2人と同室になった私たちの仲間の男性2人も困っていたので、変更してもらった。旅行前に少し勉強して覚えたスバスイーバ（ありがとう）などロシア語の単語を並べ会話して、朝までに、小さな国際交流ができる雰囲気になった。2人のロシア女性は母と娘の2人旅だった。

ウラジオストック駅に着いてびっくり！早朝だということに、ロシア民族アンサンプルの皆さんが民族衣装で大歓迎してくれた。夜はロシア料理専門店で、アンサンプルの皆さんと一緒に歌い、楽しいひとときを過ごした。

ウラジオストックは、ロシア沿海州最大の港湾都市で、人口約90万人、函館市、新潟市、富山市と姉妹都市提携をしている。起伏の多い地形で景観に富んでいた。ウラジオストックを離れるとき、アンサンプルの皆さんが駅まで来て見送ってくれた。感無量になった。

10月14日、豊川市文化会館でロシア民族アンサンプルの歌と踊りがあり、再会することができた。終了後の交流会にも出席し、私にとって忘れることのできない楽しい思い出となった。



平成17年8月15日(月)から18日(木)までの4日間、近くて遠い国...ロシア沿海州、冬期は厳寒の地となるハバロフスクとウラジオストックの短い夏を体験し、ロシア民族アンサンブル(ウラジオストックに演奏拠点あり)のメンバーと交流会を行う旅を開催しました。参加者は24人でした。

ロシア民族アンサンブルとの関わりについて

- 1 平成8年9月23日、豊川市文化会館で公演。終了後、交流会を実施70人参加。
- 2 平成17年3月、日露友好協会・ロシア民族アンサンブル日本公演事務局から、豊川市に対し、公演実施の依頼あり。10月14日に文化会館大ホールで行うことが決まる。
- 3 当協会ワールドウォッチングサークルは、ロシア民族アンサンブルを訪問し、交流を図ることを計画し、ロシア旅行を実施する。
- 4 平成17年8月17日、ウラジオストックにてアンサンブル一行と合流、ロシア民謡など一緒に歌い交流する。
- 5 10月14日に豊川公演を開催。公演終了後、当協会会員との夕食交流会を行う。



アムール川にて手記をお願いした、森下さん(右)と尾崎さん。



良質生活アピタ
アピタ豊川店

豊川市開発ビル株式会社
豊川市諏訪3丁目133番地
TEL(0533)89・3000



ア極東 2 大都市の旅

サンプルとの交流

日露友好のかけ橋

親善訪問団長 尾崎年昭

「リンゴの花ほころび、川面にかすみ立ち」、聞きなれた音楽が流れている。ロシア民謡「カチューシャ」だ。早朝のウラジオストック駅ホームで、民族衣装をまとったロシア民族アンサンブルの皆さんが大きなパンを用意して、特別な訪問者だけに行うロシア伝統の歓迎儀式を催してくれた。

今回のロシア極東4日間の旅は、私たちにとって、大変良い経験となった。

まず福祉施設 — 。交通量の多い都市でも歩行者用信号機が見当らない。点字ブロックもない。百貨店や大規模ショッピングセンターのトイレは、なぜか地下にあり、階段で下りなければならない。車椅子など障害を持っている人の姿は、とうとう見られなかった。



8月17日ウラジオストック駅の歓迎儀式

次に食事 — 。私たち一行の感触は、「おいしかった」と「おいしくなかった」がほぼ半々。スープはおいしく好評だったようだが食事は量が多く、残してしまい、もったいなかった。

シベリア鉄道 — 。一度は乗ってみたいと思っていた寝台特急。車内の設備と乗客へのアナウンス、乗務員の接客態度などに、サービス至上主義の日本の生活に浸っている私たちには我慢しなければならないことが多かった。

こうした中、ロシア民族アンサンブルとの出会いは心の温かさを感じた。アンサンブルは、毎年のように日本各地で公演し、日本人になじみの深いロシア民謡を歌い、踊って交流を深めている。ロシア極東の実状が日本に伝



わりにくい現在、アンサンブルの活動は、まさに日露友好のかけ橋的存在だ。

「君なき里にも春はしのび寄りぬ〜」、ウラジオストック駅ホームでの情景が走馬灯のようによみがえる。

❖❖ ハバロフスクの日本人墓地参拝のようす ❖❖

旅行日程の最後に平和のありがたさを感じました。



献花用の花を選んでいきます。参拝のようす。



❖❖ 豊川市での交流会のようす ❖❖

豊川公演終了後、午後9時20分から10時40分まで、正岡町のスパゲティ“チャオ豊川店”で交流会を行いました。参加者は85人（アンサンブル側29人日本側56人）でした。ロシア旅行で撮影した写真と記念品を贈呈。お互いに踊りと歌を交換しました。最後に全員で「カチューシャ」を歌いながら踊り楽しいひとときを過ごしました。



藤原さんのリードで踊りました。



「世界で一つだけの花」を歌いました。

国内旅行・海外旅行

お問い合わせ、申込みは
旅行の総合デパートを目指す
当社へ是非お願いします

(株)トラベル東海

豊川市三蔵子町一里塚41-4
(0533) 84-7115(代)

趣味の民芸・土産・造花フラワー店

(株)林電工



恋のれん結び堂

造花フラワー師範 林 叔子

〒442-0027 豊川市桜木通5丁目1番地 ☎(0533)85-9977



INFORMATION

お巡りさんと話す会

・・・ラテンアメリカサークル・・・

豊川市に住んでいる外国人が人口の4%に達しました。25人に1人が外国人ということになります。その大半はブラジルとペルーの南米の人です。

ラテンアメリカサークルは、昨年11月26日(土)、東三河運転免許センターで「お巡りさんと話す会」を開催しました。参加者はサークル会員のペルー人親子24人と警察官14人でした。

子どもを取り巻く事件や多発する交通事故の現状などのお話を聞いた後、事件や事故に巻き込まれない方法について、ゲームを交えて説明を受けました。信号機の見方、横断歩道の渡り方など参考になりました。その後、パトカーや白バイの試乗、警察官の制服を着て記念撮影するなどお巡りさんと楽しい時間を過ごしました。

このような催しは、平成16年8月21日(土)にも実施しており、今回が2度目です。ラテンアメリカサークルでは「日本で生活していくうえで必要なことを教えてくれるので、大変ありがたく思っています。今年も、ぜひ実施してほしい」と言っています。



警察官の制服を着て記念撮影

A F S がホストファミリーを募集中

財団法人エイ・エフ・エス日本協会では世界の高校生を受け入れてくれるホストファミリーを募集しています。興味のある方は2月15日までに協会事務局へお問い合わせください。

文化講座「ウクライナってどんな国」

世界各国の文化に関する知識を広め、国際理解を深めるため年2回開催しています。今回は、小麦の産地でヨーロッパの穀倉といわれ、黒海に面しているウクライナについて学ぶことにしました。

日時 2月18日(土)午後2時
(午後1時30分から受付)

場所 勤労福祉会館視聴覚室

定員 40人

受講料 会員 300円
一般 500円

講師 第37代なごや民間大使
ベレジヌイイ・ビタリーさん

内容 ウクライナの自然、歴史、生活習慣などについてお話を聞きます。ブレイクタイムには、紅茶とウクライナの花林糖を試食します。

申込み 電話で協会事務局へ。先着順。



世界の料理教室

世界の食文化を理解するため、さまざまな国の料理の作り方を学んでいます。今回は、新大関琴欧州の出身地ブルガリアの料理に挑戦してみることにしました。

日時 2月26日(日)午前10時
(午前9時30分から受付)

場所 勤労福祉会館調理実習室

定員 40人(中学生以上)

受講料 会員600円、一般800円

講師 料理研究家 野沢美子さん

内容 ギュヴェチ(豚のひれ肉と野菜のつぼ焼き)、
ラトール(きゅうりのヨーグルトスープ)、
カトマ(甘くないクレープ)、ハニーヨーグルト、
ヨーグルトのフルーツ盛り

申込み 電話で協会事務局へ。先着順。

豊かなくらしのお手伝い



豊川信用金庫

本店 豊川市末広通3丁目34番地の1 ☎(0533)89-1151(代)